

# 中村三奈子さんをさがす会 会報



1998年3月(当時18才) ソウル地方警察署にて

年の瀬を迎え、皆様方におかれましては何かとお忙しい毎日をお過ごしのことと思います。さて、「中村三奈子さんをさがす会」では、2000枚の韓国版のポスターを持って、去る11月21日から2泊3日の日程で韓国に行ってまいりました。飛行機の関係で、実質動けるのは22日の一日だけという非常にあわただしい日程でしたが、韓国の諸機関のご協力のお陰で、韓国での活動の第一歩をスタートすることができました。

ここに、韓国訪問の概略を報告させていただきます。

21日18時50分 仁川空港着 空港にて金明子さんと面会  
翌日の日程の打ち合わせ

22日 8時 ホテルにて、ガイドの朴美仙姫さんと打ち合わせ（以後、金さん・朴さんの二人の案内で、各機関を訪問）

- ① 韓国日報 テイ副編集局長と面会し、朴記者の取材を受ける  
新聞掲載の確約を得る
- ② 日本大使館 余田領事部長・越口書記官と面会  
東京で開かれた領事館局長会議に出席した折にも、2003年に引き続き、日本側から三奈子さんの所在把握の要請が出されたとのこと
- ③ ソウル地方警察庁 イム・ビョン・ホ外事三係長 ユン・ヨン・クオン氏  
朴キルチャ一氏 他 鑑識課員2名と面会  
韓国での捜査依頼・1600枚のポスターを届ける

その他 韓国の女性知名人・新潟経済事務所長の小林朝幸さん・日本人クラブ常務理事の岩間さんなどと面会 今後の捜査依頼の協力やポスター・チラシ配布のお願いをする

23日 7時30分 ソロブチミスト金懸玉さんと面会、ポスターやチラシ配布の依頼  
12時25分 仁川空港発 14時25分 新潟空港着

## 熱意ある捜索に感謝

「5年前、お母さんから捜索の依頼があったにもかかわらず、捜索が進展していなく申し訳ございません。」これは、ソウル警察庁を訪問した折、最初にお話くださった言葉である。日本大使館でも、「消極的捜索から積極的捜索に入っています。」という心強いお言葉をいただくことができた。日本人の捜索依頼ということで、そこには、大きな壁があると思っていたが、行く先々での言葉の端々から何としても三奈子さんを捜してやりたいという強い気持ちがひしひしと伝わってきた。「一人の尊い命の捜索に国境はない」そんな事を感じさせられる誠意ある、迅速な対応に感謝しつつ、韓国を後にした。

\*11月27日 韓国日報に三奈子さんの記事が掲載された。

\*12月 2日 日本大使館より、ソウル地方警察庁では、全国の警察へポスターを配布済みとの連絡が届く。

(尚、韓国に行くにあたり、小熊市議会議長・大地市会議員、韓国語のポスター印刷ではめぐみ工房さん、ポスター・陳情書・韓国日報等の翻訳では、ソウル地方警察署のウン氏・金光林氏・權五景氏・金賢眞氏・林庚致氏、そして多くの報道機関の皆様にご協力をいただきました。)

さがす会代表 金井英雄の言葉

韓国では、日本大使館・ソウル地方警察庁などいろんなところを訪問してきました。そして、韓国からは早くも、我々の訪韓の記事が載った新聞が送られてきたり、ポスター配布済みの連絡が届いたりしました。

一回目の訪韓で、韓国でのネットワークもでき人の輪がいっそう広がってきたことを皆様とともに感謝したいと思います。

母 ク二さんの言葉

皆様方の中には、地震で被災された方もいらっしゃったのではないでしょうか。心よりお見舞い申し上げます。

この度は、皆様方のご支援のお陰で、韓国での捜索の第一歩を踏み出すことができました。

仁川空港に着くと、三奈子への思いが募り、韓国の空に向かって「三奈子!!」と呼びかけとなりました。「三奈子はこの韓国地にいる。きっと会える。」と思うと、体の震えが止まりませんでした。

韓国では、どこでも温かいお言葉をかけていただき、大きな勇気をもらって帰ってくることができました。本当にありがとうございました。

今後ともよろしくお願いいいたします。



金明子さんと打ち合わせ

## 日本でも12月に入り、テレビ番組製作会社2社の取材を受ける

年末には、報道番組として放映される予定

皆様をはじめ、たくさんの方々のご協力のお陰で、三奈子さんのことが度々新聞に取り上げられたり、テレビで放映されたりと活動が大きく広がってきています。お母さんと三奈子さんの再会の日が一日も早く実現できることを願い、一生懸命努力していきます。

これからも、変わらぬご支援・ご協力よろしくお願いいいたします。